

平成 24 年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発シンポジウム
「がんと診断された時からの緩和ケア」 ～苦痛を軽減して、前向きにがん治療に取り組む～

開催報告書

「初期からの緩和ケア」の普及・啓発の一環として、「がんと診断された時からの緩和ケア ～苦痛を軽減して、前向きにがん治療に取り組む～」と題したシンポジウムを開催いたしました。会場には、医療従事者や各自治体の保健医療関係者、患者団体、市民団体など様々な立場の参加者が集い、緩和ケアについて深く考え、知見を広める有意義なものとなりました。

■名称：緩和ケア普及啓発シンポジウム

「がんと診断された時からの緩和ケア」～苦痛を軽減して、前向きにがん治療に取り組む～

■日時：2013年2月24日（日）13時30分～17時00分

■会場：日経ホール（大手町）

〒100-8066 東京都千代田区大手町 1-3-7 日経ビル 3階 TEL：03-6256-7686

■主催：特定非営利活動法人 日本緩和医療学会

■共催：一般社団法人 日本サイコオンコロジー学会

一般社団法人 日本がん看護学会

一般社団法人 日本緩和医療薬学会

日本死の臨床研究会

特定非営利活動法人 日本ホスピス・在宅ケア研究会

特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会

■後援：一般社団法人 日本癌治療学会

特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会

公益社団法人 日本放射線腫瘍学会

一般社団法人 日本ペインクリニック学会

公益社団法人 日本麻酔科学会

■参加：259人（うち一般参加者 210人）

参加者種別	参加予定数	参加実績数
①講演者、パネリスト、関係者	13	13
②一般参加者（事前登録）	234	179
③一般参加者（当日受付）	-	31
④プレス、報道関係者	14	10
⑤日経メディカル	4	4
⑥DVD撮影	5	5
⑦運営スタッフ	17	17
合計	287	259

■内容

・第1部 基調講演

『最近の緩和ケアに関する動向』

国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援研究部長 加藤 雅志 氏

『がん診断時のストレスとコミュニケーション』

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学教室教授 内富 庸介 氏

『診断時からのがん疼痛緩和』

特定非営利活動法人日本緩和医療学会 理事長 細川 豊史 氏

『がん医療をつなぐ看護の力』

株式会社緩和ケアパートナーズ 代表取締役 梅田 恵 氏

・第2部 パネルディスカッション

「診断時からの緩和ケア」を実現するにはどうしたらよいか？

◎コーディネーター

特定非営利活動法人日本緩和医療学会 副理事長 木澤 義之 氏

大阪府立病院機構大阪府立成人病センター 心療・緩和科副部長 濱 卓至 氏

◎パネリスト

【薬剤師の立場から】

総合病院 聖隷浜松病院 薬剤部 部長 塩川 満 氏

【オンコロジストの立場から】

弘前大学大学院 医学研究科 腫瘍内科学講座 教授 佐藤 温 氏

【看護師の立場から】

株式会社緩和ケアパートナーズ 代表取締役 梅田 恵 氏

【緩和ケア医の立場から】

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科臨床腫瘍学分野 教授 三宅 智 氏

【精神腫瘍医の立場から】

国立がん研究センターがん対策情報センター がん医療支援研究部長 加藤 雅志 氏

■広報

・チラシ送付先

拠点病院 (388 件)

緩和ケア病棟のある病院 (151 件)

都道府県医師会 (47 件)

都道府県がん対策担当課 (47 件)

学会代議員 (200 件)

協力団体理事 (162)

指導者 (2446 件)

協力団体 (11 件)

・WEB リンク掲載 46 件

■開催報告：日経メディカル 開催報告

シンポジウム申込 Web サイト (開催報告)

キャリアブレイン CB ニュース (2013/2/25 付)

■当日の様子

